

自然観察 NOW

No.19

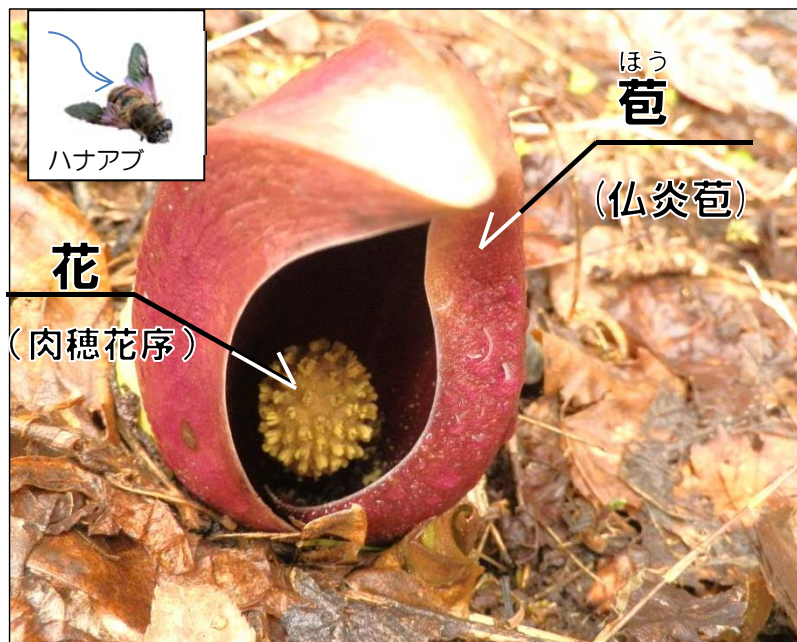
野幌森林公園自然情報

発行；2017年 4月20日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

ホームページ <http://hokkaidou.me/volaren/>

春一番に咲く草花といえましょう？フクジュソウですか、それともカタクリ、エゾエンゴサク、ヒメイチゲ etc.……。皆可愛らしくスプリング・エフェメラル（春の妖精）と呼ばれています。しかしながら、ふきのとうと並んで妖精の仲間に入れてもらえない(?) 植物に“ザゼンソウ”があります。まだ雪が残る中、早ければ2月中にその姿を現します。この植物が生き残るためにどんな戦略を立てているか、そして風変わりな生活史（雌性先熟）について紹介させていただきます。



概略

和名：ザゼンソウ

学名：*Symplocarpus foetidus*
(L.) Salisb. ex W.P.C.Barton

▶サトイモ科ザゼンソウ属の多年草で人の手のひら程度の大きさ。その姿から達磨大師が座禅を組む姿になぞらえてダルマソウの別名もある。2月～5月にかけて咲き、その後葉が大きく成長する。

▶国内では冷帯から、温帯の山岳地帯に分布する。

生き残るための3つの戦略

誰よりも早く顔を出す

周りの植物がまだ芽を出さないうちに花の部分（肉穂花序）が“発熱”して周りの雪を溶かし、顔を出します。ザゼンソウは植物の発熱システムと動物の発熱システムを併せ持っているそうです。

目立つ色

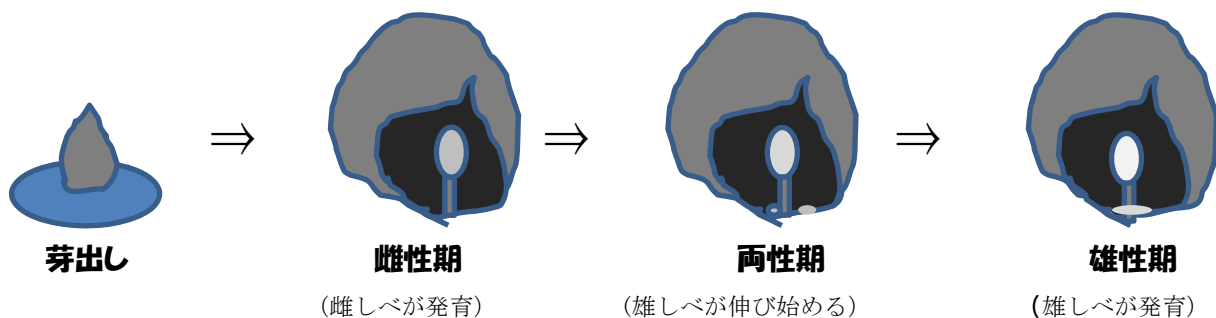
花の黄色と苞の紫は反対色（補色）であり明度の差も大きく、とりわけ目立つ配色となっています。昆虫の“視覚”に訴えて呼び寄せます。

いい？におい

春先訪花する昆虫の代表にハナアブがいます。実はアブの仲間ではなくハエの仲間なので、得も言われぬ“悪臭”が大好きです。そのためかザゼンソウは英語では Skunk Cabbage（スカンクキャベツ）と言われます。

風変わりな生活史（^{しせいせんじゅく}雌性先熟）

雌の働きを終えてから雄の働きをします



ザゼンソウの仲間たち

属は違うが色白美人

ぐっと小さくて4 cm 位。
6 月頃に花を咲かせます。

白緑色から緑色のものをこう
呼ぶことがあります。



ミスバショウ



ヒメザゼンソウ



ミドリザゼンソウ

4 月・5 月の観察会の予定

小樽支部自然観察会「オタモイ～赤岩山」（共催：小樽市総合博物館）

2017 年 4 月 30 日（日）9：00 集合場所：おたもい交番前

コース：オタモイ交番～ノースシュロスホテル ※事前申し込みが必要 0134-34-3533 北嶋

フォーの森観察会

2017 年 5 月 7 日（日）10：00 集合場所：春香山登山口(小樽市桂岡) ～12：00

春のありがとう観察会（共催：野幌森林公園 自然ふれあい交流館）

2017 年 5 月 13 日(土) 10：00 集合場所：自然ふれあい交流館 ～14：30

藻岩山登山観察会

2017 年 5 月 19 日(金) 10：00 集合場所：慈啓会病院前登山口 ～14：30

文責：藤田 潔